

(8) 豊かな心を育てよう

「自分の大切さ」も「他人の大切さ」も感じられるこどもに

ぼくの好きなことは〇〇だよ。

わたし、〇〇が得意なの！

頑張ったらほめてもらえたよ。

わたしらしさを大事にしてくれる。

つらい気持ちを聞いてもらってうれしかったよ。



〇〇さんが、助けてくれたよ。

「ごめんね」がちゃんと言えたよ。

〇〇さん、すごいね！

みんなちがって、みんないい！

「ありがとう」って言ったらいい気持ち。

「自分の大切さ」も「他の人の大切さ」も感じることができるとなると嬉しいですね。そのためには、こどもも大人も、正しい知識（知的理解）と人権感覚をバランスよく身に付けることが大切です。

みんなが仲良く協力しながら過ごしている教室だと「楽しいな。もっとこの場所にいたいな。」と心地よくなりますね。でも人の悪口が聞こえたり、仲間外しをしたりしている教室だと、「もうここにいたくないな。」と悲しい気持ちになりますね。そんな直感的に感じる力が「人権感覚」です。



例えば、いじめ問題の解決について考えてみましょう。

【知的理解】

いじめはしてはいけない。
いじめは許されない行為だ。

関連

【人権感覚】

いじめを見ると、悲しい気持ちになる。
いじわるな言葉を聞くと、腹が立つ。
〇〇さんのつらい表情を見ると、自分も悲しくなる。

知的理解と人権感覚の両面が育つことで、自分も大切に、そして他の人も大切にすることができるとなると育つのではないのでしょうか。



人を排除することのおかしさや、人と協働することの心地よさを味わうには学校だけでなく、家庭や地域での体験、様々な人との関わりが重要です。家庭や地域も一緒になって、こどもの人権感覚を育んでいきましょう。

「感じ、考え、行動する」参加型学習でも人権感覚が高まります。

◇ 家庭教育学級で使える参加型学習

【リフレーミング】

短所を書き出して、見方を変えてみましょう。

目立ちがり
あわてんぼう
おしゃべり
強引
飽きっぽい



明るい
行動的
社交的
頼れる
好奇心が旺盛

【Iメッセージ YOUメッセージ】

具体的な場面を想定して、伝え方をみんなで考えてみましょう。

【YOUメッセージ】

「遅れるなら（あなたが）連絡してよ。」

【Iメッセージ】

「連絡が無かったから（私は）心配したよ。」

平成30年度版 人権教育指導資料「仲間づくり～参加型学習コンテンツ集～」に様々な参加型学習を掲載しています。

